

令和7年度以降の会議体の考え方

- ・ブルーカーボン政策の全体の進捗管理を役割検討会(親会議)が担う。
- ・特定テーマ毎に、役割検討会の下にWGや研究会を設置し、議論の機動性を確保。

○令和7年度以降～【案】

【役割検討会】 ブルーカーボン政策全体に関すること ※年1回(必要に応じて2回)
WG・研究会の検討結果の審議・報告

【研究会:データ計測マニュアル研究会】 継続

<会員>港空研、民間企業11社

<行政関係者(オブザーバー)>環境省、水産庁

<事務局>港湾局海洋・環境課

【WG:インベントリ報告審査検討(案)】

インベントリ報告に対し、2025年内に国連の技術専門家審査チームにより審査が実施される予定であり、対応が必要となる場合はWGの設立を検討